

いいとこ いっぱい！笑顔いっぱい！みんなでつくるふるさと はりま

## 住民満足度調査結果をお知らせします

▶問合せ 企画課 ☎079-435-0356



令和3年度からスタートした「第5次播磨町総合計画」に基づき、各種施策を進めています。

まちづくり分野ごとの進捗を図るために実施した満足度調査の結果の一部を報告します。

多くの皆さんからご回答をいただき、ありがとうございました。

全調査結果は、町ホームページでご覧いただけます。



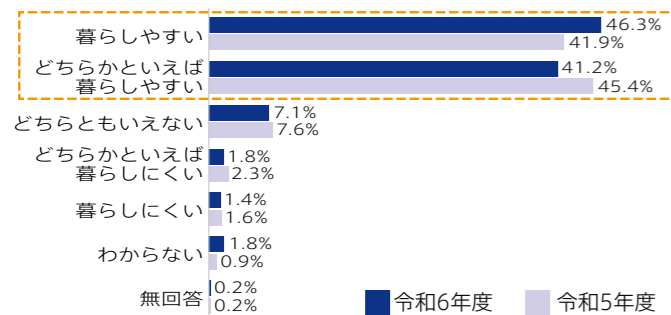
### 調査の概要

調査対象	町内在住の18歳以上の人 (無作為抽出)
調査期間	令和6年5月1日～5月31日
調査方法	郵送による配布・回収
回収結果	配布数 1,000票 回収数 490票 (回収率49.0%)

### 調査結果

Q 播磨町は暮らしやすいですか

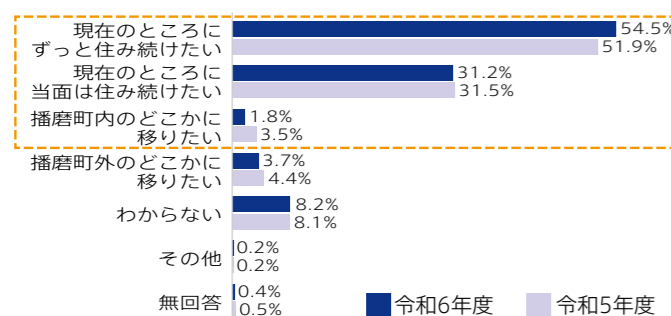
A 暮らしやすい 87.5% 昨年度 87.3%



年代別では、30歳代・60歳代・70歳代では「どちらかといえば暮らしやすい」と答えた人が最も多く、それ以外では「暮らしやすい」と答えた人が最も多くなっています。

Q これからも住み続けたいですか

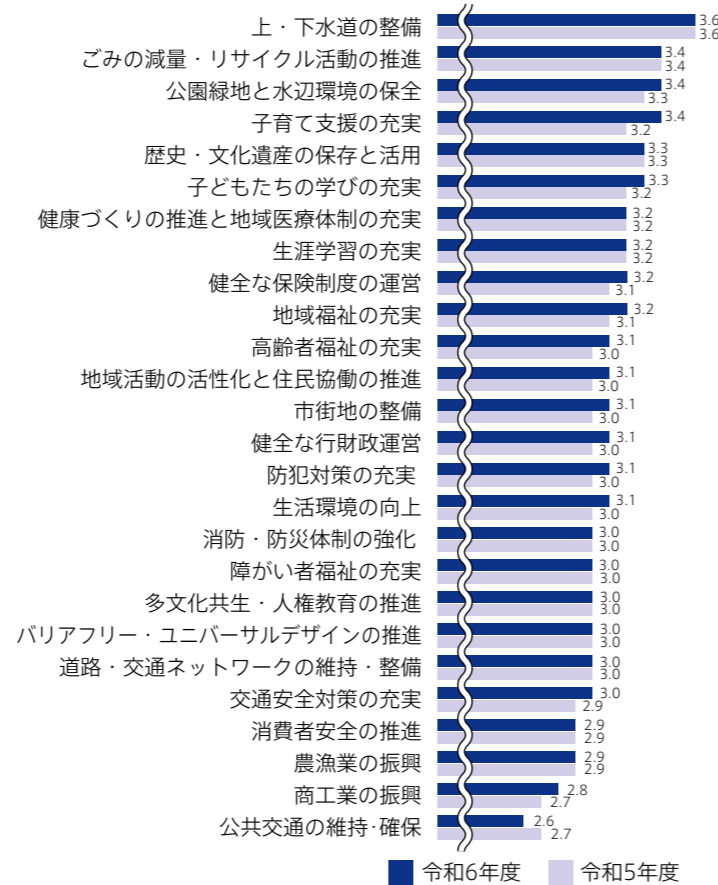
A 住み続けたい 87.5% 昨年度 86.9%



年代別では、40歳代以上で「現在のところずっと住み続けたい」と答えた人が最も多くなっています。

Q 主な施策の満足度について

※満足5点、やや満足4点、普通3点、やや不満2点、不満1点。



施策の満足度が最も高い分野は「上・下水道の整備」で、次いで「ごみの減量・リサイクル活動の推進」などとなっています。一方、満足度が低い分野は「公共交通の維持・確保」、次いで「商工業の振興」となっています。

大きな災害が発生した直後など一刻を争う時は、行政による支援が間に合いません。過去の大きな災害では、被災した人のほとんどが隣近所や地域の人に助けられています。阪神淡路大震災では、自力での脱出が困難になった人のうち、消防や警察、自衛隊など防災関係者に救助されたのは20%で、80%近くの方は近隣の住民によって救出されています。

災害時に避難支援が必要な人を事前に把握し、地域の支援者（避難支援等関係者）と情報共有することで、日頃からの地域での見守りと、災害が発生した時の避難支援の仕組みづくりを促進することを目的としています。

避難支援等関係者  
(町から情報を提供できる団体)  
消防署・自主防災組織・自治会・消防団・社会福祉協議会・地域包括支援センター・民生委員児童委員

# 避難行動要支援者名簿作成のため、調査にご協力をお願いします

問保険課地域包括ケア係 ☎079-435-0313

「避難行動要支援者名簿登録同意書 兼セルフプランシート」が届きます  
対象者 4月1日時点で80歳以上の人  
※79歳以下で調査対象となる人は、10月中旬に個別に送付します。  
配布時期 9月上旬～10月下旬  
配布方法 町から委託を受けた民生委員が訪問して書類をお渡しします。(一部地区は郵送で届きます)

避難の際に支援が必要な人の名簿を作成しています  
播磨町では、災害対策基本法に基づき、高齢者や障害のある人など自ら避難する事が困難であり、避難時に特に支援が必要な人(避難行動要支援者)の名簿を作成しています。

登録用紙に、「平常時からの個人情報提供」に同意をいただくことにより、避難支援等関係者の平常時の見守り活動や災害時の避難支援体制づくりに役立てることが出来ます。日頃からお互いに「顔の見える関係づくり」をすすめるため、ご協力をお願いします。



### 名簿登録の流れ

